

専門教育科目		演習科目		受講料	5,000円
科目名： 最新 I T 技術の動向を知る				科目コード	HH11
科目主査： 宮内 ミナミ 担当講師： 宮内 ミナミ				単位	2
				配当年次	1
授業の目的と概要			グループワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>情報通信技術は急速に進展しており、社会や企業活動に大きな影響を与えています。近年、AI・DX・ビッグデータ・ブロックチェーン・デジタルツイン・量子コンピュータ等が話題になっています。本科目は、情報通信技術について、基礎をなす考え方やしくみから最新の動向、事例、課題について取り上げ、情報通信技術の今後5年程度先を見据えた動向を把握し、社会、ビジネスでの利用とその影響について考えることを目的としています。なお、このシラバスは2022年版のテキストに沿って作成してありますが、最新版のテキスト(2023年版)の発行後にシラバスを改訂します。改訂版シラバスは最新教材と一緒にお届けします。</p>					
履修の前提となる科目		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項		特にありません。この分野は初めての方もITに携わっている方も参加していただけます。事前にテキストを読んで、質問、感想、意見などを準備して授業に臨んでください。			
テキスト		『I T ロードマップ 2022年版』野村総合研究所デジタルビジネス開発部, 東洋経済新報社, 2022年 最新版テキストをスクーリング受講許可者に送付します。			
この科目の到達目標		①情報通信技術の基礎となる考え方やしくみ、最新の動向、事例、課題について把握し、説明できる。 ②最新の情報通信技術の動向に興味関心を持ち、今後の社会やビジネスでの利用とその影響、変化、課題について考察することができる。			
成績評価の方法		授業に取り組む姿勢と最終試験の合計により評価します。			
事後学習		スクーリングで得たITに関する知識と興味関心をもとに、今後もITの動向を把握して、社会、ビジネス、生活の中でのITのよりよい活用や人とITの望ましい関係を考えてみてください。			
事後学習の参考文献		『ITナビゲーター 2023年度版』野村総合研究所ICT・メディア産業コンサルティング部, 東洋経済新報社, 2022年 『日経テクノロジー展望2023 世界を変える100の技術』日経BP社, 2022年			
スクーリング受講時に用意するもの					
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票 (iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます) 画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証					